

出版業界での活躍を模索する多くの作家が、数少ないチャンスにしか恵まれない。そのような状況に強い憤りを感じたことがキッカケとなり、本企画を立案しました。

創作への想いと活動は、ただ純粹にその熱量を評価されるべきものであると信じています。だからこそ、現在の閉塞的な業界に対し、新ジャンルという風穴を穿ち、業界全体を巻き込んだ変革を起こす。その決意を示すべく、本企画に「レボリューション」と銘打って臨んでいます。